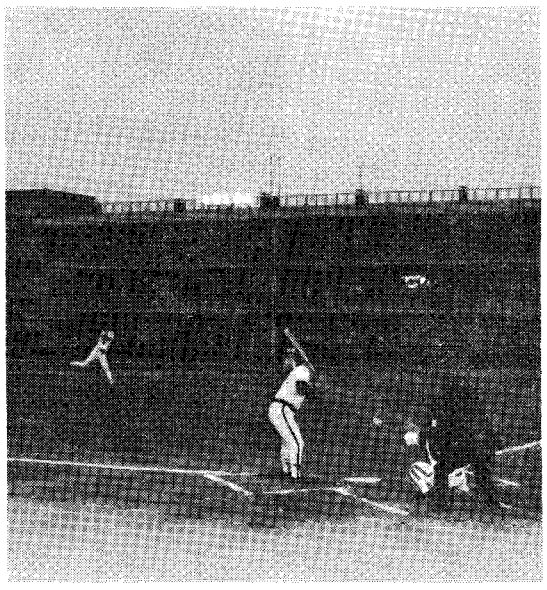
こすど公民館報
発行所　小須戸町 中央公民館
発行人　成田常信
発行日　毎月15日
一部15円
印刷所　㈲昭栄堂印刷所

6月19日(日)は父の日です

ナイターリーグ ますます盛大に

三十七チームが参加



去る五月八日（日）にナイターリーグ開会式が行なわれて以来、天候に恵まれたため総試合数百五十三試合のうち約三分の一の試合を消化しております。

最初わずか五チームで始めたナイターリーグも実に第十回を迎え、三十七チームの参加でますます盛大になりました。

最近のナイター試合の傾向として、勝負を優先させて、一段と見ごたえのある、迫力のある試合へと移り変わってきました。

今年参加している三十七チームはそれぞれ、A・B・C・Dと各ランク別になっており、各ランク内でのリーグ戦を展開しています。各チームの年令層は10代後半より50代の方々と幅が広く、各職場チーム、地域のチーム……とバラエティーに富んでいます。

また、審判講習会などを開いて、正確に、スムーズに試合が運営できるように体制づくりをしています。

最後に試合時に乗ってくる自動車については、駐車の関係上、一人が一台に乗って来るのではなくて、一台に多乗するように気を付けてもらいたいと思います。

ナイターリーグをまだ一度もご覧になっていない方等々、ぜひ応援に来てはいかがですか。

なお、ナイターリーグ10周年記念として「小須戸の野球史」を刊行いたしました。ナイターのみでなくコスドの野球の生い立ちより、当時活躍されたOBの方のお話等、野球の歴史を語っております。「小須戸の野球史」を求められたい方は、野球連盟、あるいは中央公民館へおたずね下さい。

＜野球連盟＞

窓辺の静物　油絵教室　村山　睦

こすど町の芸術・文化（三）

茶事の音

武田玄峯

音の世界にも色々あって、浮世の躁音は益々多用になるし、音楽のメロディは美しいと思うが茶の湯の音も又悟道に入る妙音でありましょう。

茶事の客は外露地の腰掛待合で御主人の迎入を待っていると、やがて露地庭の向うからお迎えのドラを叩つ、妙音は大きく小さく膨洋と流れてきます。客はこの音を静かに聞いてからお席入です。露地下駄で飛石を渡る下駄の音、蹲踞に筧から落ちる水の音。杉の露地下駄は下が平で石の上を渡ると、カタン、カタンと音が冴えて、水の落ちる音はポットン、ポットンと清々しい音。カッタンポットン露地の飛石を歩く上手に音が調和するよう歩くには、なみなみならぬ修錬を要します。静かに茶室の躙口を開けると幽玄なお香のかおりが聞え、清寂な茶室の内では釜の湯がほどよく松風の声を聞かせて、床には古銅の花入に山芍薬の真白な清純で気品にあふれた花が一輪、七分に咲いて活けてある。この花は時間がたつにしたがって満開となり、そして美しい花はハラハラと花片がひとひらひとひらいさぎよく散り落ちてしまう。物のあわれを教えてくれる、本日賞玩する第一のご馳走の花であった。

茶道口からご主人は静かにお茶碗や茶のなつめのおはこびです。白い足袋のかなでる畳ざわりの音、竹の蓋置に柄杓を引くカチッという竹の音、茶わんに柄杓から湯を汲み入れるお湯の音、サラサラと茶を点ずる茶せんズリの音、ほのかに茶せんの竹のかおり、これらさまざまな茶事が織りなす美や音の音楽的調和を楽しむ茶の湯は誠に優雅でみやびやかな遊びであるけれど、人と人との出合いを大切に、主人は客をもてなすに心をこめ、客もまた今日の仕合せを心からありがたく感謝する。そうした茶の湯の動作や手順のうちから不知不識の間に庶世の道を体得いたすことで、茶の湯も又茶道という大切な〝道〟の字が付く誘因でもあると思います。

小須戸ライオンズがビッグな贈り物

去る五月中旬小須戸ライオンズクラブ結成十五周年記念事業の一環として、中央公民館前庭中央に正確さを誇る太陽電池式大時計塔（写真）一基が寄贈されました。

中央公民館にまた一つシンボルが増えました。有難うございました。

役場よりお知らせ

六月二十六日 参議院議員 通常選挙

来る六月二十六日は参議院選挙の投票日です

今回の選挙は全国選出議員（全国区）と地方選出議員（地方区）の選挙が同時に行われます。

今までは全国区、地方区とも候補者の名前を投票用紙に記入していましたが、今度から全国区の選挙方法が変り「比例代表制」に改正され、「政党名」を記入していただきます。うっかり個人名を書くと無効になります。地方区については今まで通り個人名を投票用紙に記入することになります。

投票用紙は、全国区と地方区の色が違っていますから、よく確認をして間違いのないよう注意して投票して下さい。

国政の方向を決める大切な選挙です。棄権をしないで、みんなで投票しましょう。

○投票日と投票時間
六月二十六日（日）
午前七時～午後六時

○小須戸町で投票できる人
小須戸町に住所のある日本国民で、次の要件が必要です。
①年令が投票日当日二十才以上であること。（昭和三十八年六月二十七日以前に出生した者）
②基準日（六月一日）以前三ヵ月以上小須戸町に住所を有すること。（昭和五十八年三月一日以前に転入届を出された人。）

○住所を移した人
今年の三月一日以降に小須戸町に住所を移した人（転入者）は、前住所地の市町村で投票することができます。

○不在者投票
投票日（六月二十六日）に所用などで投票所で投票できない人は「不在者投票」をして棄権のないようにしましょう。

不在者投票は投票日の前日（六月二十五日）までいつでもできますが（土曜、日曜も含む）、場所は役場一階事務室（町民生活課）時間は午前八時三十分から午後五時までです。

○郵便による不在者投票
身体障害者手帳を持っている人で「郵便投票証明書」をお持ちの方は、郵便による不在者投票ができます。

○投票所入場券
六月十六日ごろ嘱託員を通じて選挙公報と共に全世帯にお届けする予定です。

○開票所
開票所は中央公民館三階、六月二十六日の午後七時より、中央公民館三階にて行います。

なお、不明の点については、町選挙管理委員会へお問い合せ下さい。（電話三一一一内線四一番）

日本海中部地震被災者救援金募集について

五月二十六日の日本海中部地震で大きな被害を受けた被災者に対する救援金を募集しています。皆さんの暖かいご協力をお願いします。

受け付けは六月三十日までです。

受け付け窓口
小須戸町役場、町民生活課、福祉係

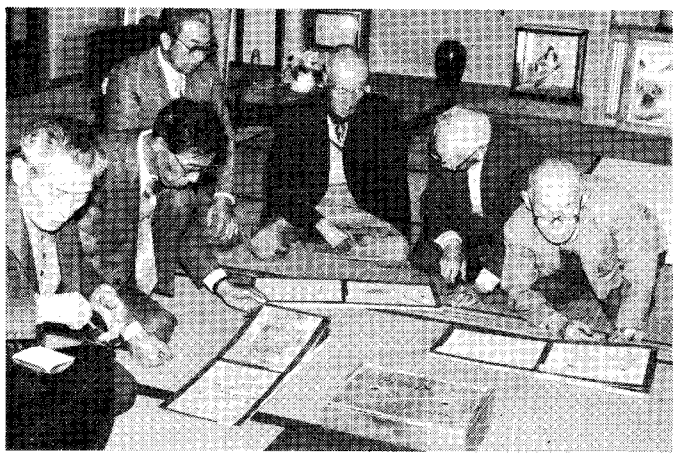
空き缶ゼロ作戦

空き缶を拾う気持ちで
捨てないで!!

町の文化財調査記

〔その3〕

文化財審議委員　柏　大　治



五月二十七日第二回の文化財調査をすることになった。

今回は三カ所で、初めに了専寺の竜や本堂の埋木を使用したものを見て、なお江村春暉翁の墓を参拝、次に和泉屋さんの町浦絵図を見せて頂いた。町浦絵図は文政九年六月製作のもので平面図である。

了専寺の再建は文政十年十月十五日であるから一年古い、町の歴史を研究する上に貴重なものである。庄屋吉岡名兵衛、名主大関与右ェ門、中村五右ェ門、吉田宇平次等の名前がでている。この図面は庄屋吉岡家から出たもので和泉屋さんの先々代の又助さんが紙屑の中から発見、大切に保存されたという。新町も泉町もなく、横町も家数がいくらもない。慾をいえば小須戸郷倉も書いてもらいたかった。

庄屋屋敷は水堀が廻わされていた。渉場の尾崎屋圓助も書いてある。木村権八さんの先は全部庄屋屋敷で小生もこの絵図を写したのであるが、吉岡勉さんに見せたら欲しがったので呉れてやった鵜出古木は除外されていて枝郷となっている。組頭和右衛門となっているその跡が幕末になって宇野名主宅である。古木金平次さんがその屋敷を買って鵜出古木図は古木さんの処にある。

小生も写したが寺跡なども あって文政図より古いと思う。それはさておいて和泉屋さんに感謝して次は丸山メリヤス社長丸山耕平さん宅で、書画帖

安政三丙辰霜同
懐　玉
五十嵐文遊

を拝見することになった約百五十点、当時の小須戸の画人、庄屋の書や越後の有名人、江戸・京都に及ぶものが三冊になって納まっている。皆さんは溜息をつくばかり、丸山社長曰く県宝ものだと正にその通り。町宝以上のものである。

小生の処へ故五十嵐郵便局長さんが三万円で買ってくれといわれた品物である。買う金は持っていたのであるが、県下の文化財であるから持って帰りなさいというたことがある。後になって長谷川鉄太郎さんと小生が丸山耕平さんに買って頂き文化財として保存して頂くことになった。その他明治天皇が新津の桂家にお泊りの際、天覧に供した、帰山（雲涯）の「びょうぶ」抱一等金に糸目をつけない美術品が多数有り、国宝級のものである。

県の専門家宮栄二氏を連れて来て驚ろかしてやりたい。正に小須戸町の美術館のようだ、町の会合にいつでも使用して下さいと、腰の低い丸山社長さんに敬意を表して今日の文化財廻りは終る。

次回の調査は保科祐治さんの丸塚（古墳）及び金山の民間信仰の石仏群の予定。

楽しかった峠越えシリーズ

先般五月二十二日(日)に実施しました峠越え（上川より野沢）は、多数の参加をいただきありがとうございました。

（写真は参加者の皆さん）

なお、写真希望の方は教育委員会の社体の森田迄。

本町五の「おかあさん会」

本町五丁目のおかあさん達で作っている親睦会が三十年もの長い間続いたということで、先般来賓を招いて祝賀会が開かれました。町づくりに大きく貢献した「おかあさん会」に敬意を表します。

文化祭協賛

第一回小須戸町俳句大会作品募集

小須戸町中央公民館主催（小須戸町他後援、小須戸町俳句同好会協賛）による第一回小須戸町俳句大会は、文化祭協賛行事として町民主体の規模で行うもので、流派に偏らない俳句大会です。町民の方々が奮ってご応募下さるようお願いします。

一般の部

未発表作品で五句以内なお、出句無料。（官製葉書又は同型用紙を使用して下さい）

投句先＝小須戸町中央公民館内、小須戸町俳句大会係あて

〆切日＝九月十五日（当日消印有効）

規定＝小須戸町在住者並びに小須戸町に通勤・通学する者。住所氏名明記のこと。（作品発表・ペンネーム可）

選考＝県内外著名俳人十数名の合点による。

学生の部

（小・中・高校生）

規定＝一般の部に同じ（投句の際、必ず学生と明記して下さい。）

発表＝十一月三日（木）～六日（日）まで中央公民館文化祭展示場掲示

表彰＝町長賞、教育委員会賞、公民館長賞、他三十位まで

主催＝小須戸町中央公民館

後援＝小須戸町、小須戸町教育委員会、小須戸町文化協会

協賛＝小須戸町俳句同好会

各種教室・講習会

大会等開催のお知らせ

ヨガ教室

好評により第一期として六月より開催いたします。

○講師＝野沢一郎先生
○第一回は六月二十二日以後は毎月第一第三水曜日、九月まで（八月休み）
○時間＝午後七時三十分より九時まで。
○場所＝中央公民館
○入会費＝五〇〇円
○申し込みは中央公民館まで。

定員になり次第〆切ります（定員三〇名）

☆　☆　☆

梅干し教室開催

梅干しを漬け込む季節となりました。左記のとおり、梅干し教室を開きますので、どなたでも、お気軽においで下さい。

日時＝六月二十五日(土)午前十時～十二時
内容＝梅干し、カリカリ漬け、他料理についての質問
講師＝さくらクッキングルーム校長　河内さくら先生
材料代＝五〇〇円

☆　☆　☆

子ども茶の湯教室

お母さんも歓迎！

対象＝小学生
期間＝七月～十二月まで毎月第二土曜日
時間＝午後一時～三時
会場＝中央公民館
定員＝二〇名
参加費＝千円（茶・菓子他）
内容＝客の作法（お茶・お菓子のいただき方等）
指導＝茶の湯研究会
※終了後引続き「お手前」の教室（希望者のみ）を開催の予定です。

☆　☆　☆

"婦人の集い"ご案内

～お気軽にご参加下さい～

婦人の集いを左のとおり開催いたします。あなたもぜひ一度参加してみませんか。

日時＝六月二十九日(水)午後七時三十分～
会場＝中央公民館二階会議室
講師＝親松四郎先生

☆　☆　☆

わんぱく集会

◎インディアカで遊ぼう
◎チャレンジこすどNo.1
「ギネス」こすどNo.1を作りました。挑戦しよう
㈠種目＝紙ヒコーキ
㈡対象＝小学一年生～四年生まで
㈢認定証をあげます。但し更新あり。
とき＝七月九日（土）午後二時から
ところ＝中央公民館

図書だより

☆新刊案内

児童図書がたくさん入りました。

◇こどもの伝記全集
◇フレーベルの絵本
◇入門百科シリーズ
◇幼年童話シリーズ

寄贈図書御礼

須藤書店さんはじめ、上田さん、加藤さん、新津市の斉藤さんから、多くの本を寄贈いただきました。どうもありがとうございました。

親子文庫を開設

矢代田保育園児を対象に

幼い子にとって、本を見たり読んだりすることは遊びの一部だと言われます。幼いうちに本を読む楽しみを知ってほしいものです。

さて中央公民館の事業といたしまして、親子文庫を矢代田保育園にて開設いたします。実施要領は次のとおりです。

○貸し出し時期
六月より半年間。原則として月二回貸し出し。（第二木曜日、第四木曜日）
○貸し出し時間
午後三時～四時
○場所
矢代田保育園
お子様が持ち帰りましたらぜひ読んであげて下さい。

分館だより

新保分館

役員体制
分館長　大貫泰弘
副分館長　鶴巻重雄
主事　高山信一郎
丸山猛
古田恒夫

矢代田分館

役員体制
分館長　新井田七郎
副分館長　本多新一郎
小柳浩平
広瀬観成
伊藤敏
主事　篠山正輝

日本棋院春季大会成績

去る五月二十二日(日)に行なわれました日本棋院春季大会で次のとおりの成績をおさめました。

一位　木村竜太郎
二位　渡辺良一
三位　山田啓一
〃　関根紀男

こどもクイズ

さあ！考えて？

つぎの問題に答えて公民館へ。

答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。

正解者多数の場合は抽選で賞品をお贈りします。

テーマ
時間
一問　1日は□時間です。
二問　19時は午後□時です。
三問　300秒は□分間です。

前号の正解は
一問　アウト　二問　九
三問　巨人

抽選により左記の正解者へ賞品をお贈りします。

文京二　金子照美　四年
新栄四　水沢さとみ二年
大川二　川村公成　五年
本町五　花沢利夫　〃
〃　番場洋子六年

中学生文芸

――俳句クラブ作品――

すがすがし白いワイシャツ衣がえ　大野美寿保
休日も芽の出ぬ鉢に水をやる　〃
グランドは梅雨空の下こてき隊　大場久美子
真っ白に制服かえて学校へ　〃
夏空に強く響くやこてき隊　高橋美保
衣がえ白い半袖光ってる　〃
衣がえみんなの顔もすがすがし　川瀬直美
一つの芽夏の暑さに育つかな　〃
梅雨空に響く太鼓や運動会　渡辺淳子
やっと出た早く咲け咲けお花の芽　〃
梅雨らしき雲より雨のしししとと　高山ルミ子
蒔いた種子早く芽を出せ待ち遠し　矢部ゆかり
校門の桜の散りて葉の青さ　加藤実
しししとと雨は蛙を呼ぶなかま　斉藤里恵
早く来いプールの水が夏を待つ　〃

五月句会報

小須戸町俳句同好会

厨事終へて安けし菖蒲風呂　ミナ
木苺の花うつ今朝の雨やさし　素糸
筍の幾重にはがれ小さきかな　野蒜
鯉のぼり育児日記に書きたして　冨沙子
日を吸うて雑木林の大芽小芽　良遊
冷えて来し夕日は染まず柿若葉　石秋
目刺し焼く娘の主婦の姿たしかなり　英三郎
田植水堰して泡をえくぼとす　可津朋
春祭り鈴を鳴らして娘の財布　越楼
春惜しむつづけて村に葬二つ　香月
妻の忌に寺への道辺桃の花　松山
土筆もつ片手を上げてスベリ台　芳人
種浸す柵いかめしき防火池　虚秋
手を触れてみし藤房のさかりなり　露春
片栗の花に瀬越しの風冷ゆる　樫男
春泥の靴にためらう自動ドア　秀穂
草取りの屈み疲れの夜勤かな　松男
夕雲雀畑まで来てる訃のつかい　蒼穹
児の歩み日々確かなり青き踏む　久子
畑隅の捨て菜が花をもたげけり　庄三郎

福祉センターにて

我妻清作

夏至空に白山吹の実は光る賜いたる人の病みて来ぬ日を